

日進市自殺対策計画進捗確認シート(令和6年度)

計画における項目	実施内容	計画書ページ	担当部署	担当課	再掲	今後(令和6年度以降)の実施計画	令和6年度実施状況	令和6年度 実施状況に関する担当課の評価	達成度(%)
<b>施策1 地域におけるネットワークの構築・強化 つなげる先の体制づくり</b>									
福祉総合相談体制(日進つながる丸ごと相談)の確立	専門機関・専門職が連携しながら丸ごと相談していく体制づくり	P.106	福祉部	地域福祉課		継続実施	・生活困窮者等の相談窓口として「くらしサポート窓口」を継続設置した。 ・地域福祉課を中心に、関係課及び関係機関による生活困窮者自立支援事業支援調整会議を開催した(12回)。 ・必要に応じて、支援者の状況に応じて、必要な機関と連携し、個別ケア会議を実施した。	くらしサポート窓口での相談実人数は790人だった。	実施
既存の各種会議等を活用した関係機関・専門職の連携	各種会議を活用した情報共有・事案調整及び個別支援	P.106	福祉部	地域福祉課		○ 継続実施	・生活困窮者等の相談窓口として「くらしサポート窓口」を継続設置した。(再掲) ・地域福祉課を中心に、関係課及び関係機関による生活困窮者自立支援事業支援調整会議を開催した(12回)。(再掲) ・必要に応じて、支援者の状況に応じて、必要な機関と連携し、個別ケア会議を実施した。(再掲)	くらしサポート窓口での相談実人数は790人だった。	実施
			福祉部	介護福祉課		参加を継続し、必要な介護サービス等について情報を共有する。	地域ケア会議に参加し、情報を共有した。	必要とされたすべての地域ケア会議に参加し、情報を共有した。	100%
			健康こども部	子育て支援課		継続実施	要保護児童対策地域協議会代表者会議1回、ネットワーク会議12回、ケース検討会議5回	関係機関と情報交換や協議を行い、適切な支援を図ることができた	100%
「日進市わたしのまちのしあわせづくり委員会」を通じた本計画の進行管理	「日進市わたしのまちのしあわせづくり委員会」を通じた本計画の進行管理	P.106	福祉部	地域福祉課		継続実施	委員会を5回(6/26、9/24、11/25、1/28、3/24)開催した。	事業報告及び事業計画の報告を行い、委員から意見をいただいた。	実施
<b>施策2 いのちを支える人材の育成 ～気づき、つなぐ人づくり～</b>									
職員等を対象にしたゲートキーパー研修の実施	各種窓口担当職員を対象に、ゲートキーパー研修を行う	P.107	福祉部	地域福祉課		継続実施	市民等からの各種相談を受けることがある課等の係長級及び担当職員を対象としたゲートキーパー養成講座(7/11)を実施した。	職員を対象としたゲートキーパー養成講座の受講者数は34人だった。	実施
市民や民間事業者に対するゲートキーパー研修の機会の提供	民生委員児童委員や各種福祉サービス事業者、市民等に対してゲートキーパー研修を行う。	P.107	福祉部	地域福祉課		継続実施	市民を対象としたゲートキーパー養成講座(11/29)を実施した。	市民を対象としたゲートキーパー養成講座の受講者数は14名だった。	実施
<b>施策3 広報・啓発の充実 ～本人や周りの人が気づける機会づくり～</b>									
自殺予防週間、自殺対策強化月間における啓発活動	自殺予防週間や自殺対策強化月間での啓発	P.108	福祉部	地域福祉課		継続実施	期間中市役所窓口にて啓発資材を設置した。	実際に支援が必要な方に必要な情報が届くよう、情報提供の機会を増やした。	実施
ホームページ等による自殺対策に関する情報提供や啓発	市のホームページ内に自殺対策に関するページを作成、広報での特集記事による啓発	P.108	福祉部	地域福祉課		継続実施	広報にしん3月号にて特集記事を掲載した。	実際に支援が必要な方に必要な情報が届くよう、情報提供の機会を増やした。	実施
自殺防止リーフレット等による啓発	リーフレット類を各種相談窓口や市内の公共施設等に配架	P.108	福祉部	地域福祉課		継続実施	市役所窓口にて相談窓口一覧を設置した。また、関係各課にて相談窓口一覧を周知した。	実際に支援が必要な方に必要な情報が届くよう、情報提供の機会を増やした。	実施
広報やチラシ等を活用した相談窓口の紹介	相談窓口や愛知県自殺対策情報センター等の関係機関の紹介	P.108	福祉部	地域福祉課		継続実施	広報にしん3月号にて特集記事を掲載した。市役所窓口にて相談窓口一覧を設置した。また、関係各課にて相談窓口一覧を周知した。	実際に支援が必要な方に必要な情報が届くよう、情報提供の機会を増やした。	実施
<b>施策4 生きることの促進要因を増やす支援 ～生きていく気持ちの源づくり～</b>									
「つどいの場」の開設支援	「つどいの場」の身近な地域での開設を支援、全世代対応型のサロン等、多様な方が参加できるサロンの開設を促進	P.109	福祉部	地域福祉課		継続実施	NPO法人等に委託して市内7箇所につどいの場を設置した。	7箇所、延べ18,591人が利用、多世代が交流する拠点としての役割を果たすことができた。	実施
			福祉部	介護福祉課			実績なし		
			健康こども部	子育て支援課		継続実施	市内3か所、1,508回開催し、延べ10,046組が参加し、子育て支援拠点としての役割を果たすことができた。	事業の回数が前年比で増加した。引き続き、乳幼児及びその保護者が相互交流を行う場を提供していく。	100%
				日進市社会福祉協議会		継続実施	・つどいの場の運営助成 20団体 930,977円 ・つどいの場連絡会の開催(年3回、延べ57名参加)	多くの地域で、住民が歩いていける集会所等でつどいの場が開催され、主に高齢の方々にとって住民同士の憩いの場になっている。	実施
フリースペース「すばる」の運営支援	精神保健福祉ボランティアによるフリースペース「すばる」の運営を支援	P.109	福祉部	地域福祉課		継続実施	社会福祉協議会に委託して、ボランティア養成講座やステップアップ講座の開催等、運営支援を行った。	ボランティア養成講座の受講者数は6人、ボランティアステップアップ講座受講者数は13人だった。	実施
				日進市社会福祉協議会		継続実施	12回中11回参加し、支援を実施。121名参加。	定期的に開催することで、お話を聞くボランティアの精神的負担を軽減するとともに、誰もが参加できる居場所を継続開催することができることにも、活動に参加する人は話を聞いてもらうことにより心理的負担軽減を図ることができた。	92%
当事者等の交流活動の支援	悩みに応じて参加できる交流活動を支援	P.109	福祉部	地域福祉課		継続実施	介護者のつどい(12回 49名参加)、認知症家族交流会(12回 120名参加)の開催を行った。	共通の悩みを持つ参加者同士が交流することで、困りごとの相談や心理的な負担感を減らす機会とすることができた。	実施
				日進市社会福祉協議会		隔月開催	肢体不自由児のママ・パパを対象に、ピアサポート事業「しゃべり場」を実施。6回開催 23名参加。	肢体不自由の方が気軽に集まり、おしゃべりできる場の提供し、昨年度より多くの方に参加していただくことができた。	100%
大切な人を亡くした人の支援を行っている機関等の紹介	自死で大切な人を亡くされた人の総合相談窓口、専門相談室、ピアカウンセリングを行っている団体の周知	P.110	福祉部	地域福祉課		継続実施	広報にしん3月号にて特集記事を掲載した。市役所窓口にて相談窓口一覧を設置した。また、関係各課にて相談窓口一覧を周知した。	実際に支援が必要な方に必要な情報が届くよう、情報提供の機会を増やした。	実施
メンタルヘルス・ポータルサイト「こころの耳」の周知	メンタルヘルス・ポータルサイト「こころの耳」の周知	P.110	福祉部	健康課		継続実施	ホームページに掲載	閲覧数が把握できないため、周知に効果的かを確認することができない。	実施
こころの健康啓発事業	こころの健康の啓発	P.110	福祉部	健康課		継続実施	1、「こころがホッとする言葉」の周知啓発 ①センターで使用する封筒への掲載 ②「にしん体操」の歌詞に盛り込み、体操の普及啓発により体操スポットが32箇所となった ③マスキングテープを作成・配布 2、こころの講演会を開催(1回) 3、母子健康手帳発行時にメンタルヘルスケアに関連したチラシを配布 4、「心にも作用するストレッチ」動画配信 5、啓発ページ「こころの健康」を市ホームページに掲載	・多くの市民が手にする配布物に情報を掲載することで、効率的に啓発することができた。(広報やヘルピー健康だより、チラシなど) ・にしん体操スポットは32か所となり、こころと体への働きかけができた。 ・こころの講演会を実施することができた。 ・動画の配信などホームページを活用してメンタルヘルスケアの必要性を周知することができた。	実施
相談支援事業	障害者相談支援センターを通じた精神面でのケア	P.110		障害者相談支援センター		継続実施	年間相談件数 12,657件	障害のある(と思われる)方やご家族等に対し、相談を通じて精神面でのケアを行った。	100%

日進市自殺対策計画進捗確認シート(令和6年度)

計画における項目	実施内容	計画書ページ	担当部署	担当課	再掲	今後(令和6年度以降)の実施計画	令和6年度実施状況	令和6年度 実施状況に関する担当課の評価	達成度(%)
<b>施策5 ライフステージ別の取組</b>									
児童生徒へのSOSの出し方に関する教育の推進と相談実施	児童生徒へのSOSの出し方に関する教育実施、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを通じた相談	P.111	学習教育部	学校教育課		継続実施 ・令和5年度からスクールソーシャルワーカーを学校教育課に1名配置し、こども家庭室との連携を強化 ・令和5年度からスクールロイヤーを設置	引き続き、スクールソーシャルワーカーを各学校とは別に学校教育課に1名配置した。また、令和6年度はスクールソーシャルワーカースーパーバイザーを常時、学校教育課に1名配置した。こども家庭室をはじめ、福祉部門や関係機関との連携を強化し、相談業務を実施した。児童生徒の様々な悩みに対応するため、令和6年10月から学習用タブレットに「なやみSOS」を設置し、スクールソーシャルワーカーが相談に応じた。学習用タブレットに設置している「いじめSOS」や「なやみSOS」の活用をとおし、SOSの出し方に関する教育を全小中学校で実施した。尾三地区における共同でのスクールロイヤー設置についても継続した。	新たに設置した「なやみSOS」も活用しながら、児童生徒及び保護者からの相談に適切に対応することができた。	100%
日進市いじめ防止基本方針に基づく取組等の推進	四中学校区小中学生指導・いじめ防止対策推進協議会の開催	P.111	学習教育部	学校教育課		継続実施	6月と12月に開催	委員出席のもと、いじめ対策について協議することができた。	100%
若者の就労支援の充実	ヤング・ジョブ・あいち、地域若者サポートステーション等との連携によるセミナー参加促進	P.111	福祉部	地域福祉課		継続実施	地域若者サポートステーション等の依頼を受け、セミナーのチラシを随時設置した。	セミナー周知の実施や、相談者の状況に応じて若者就労支援機関の紹介等を実施している。	実施
			産業政策部	産業振興課			実績なし		
SNSによる相談窓口の周知	SNS・チャット相談事業（「生きづらびっと」、「よりそいチャット」）の紹介・PR	P.111	福祉部	地域福祉課		継続実施	広報にしん3月号に特集記事を掲載した。	実際に支援が必要な方に必要な情報が届くよう、情報提供の機会を増やした。	実施
妊娠前から子育て期まで切れ目のない子育て支援	妊娠中から子育て期のいろいろな悩み事や困り事など相談や必要な情報提供、産婦健診事業や産後ケア事業の推進	P.111	福祉部	健康課		継続実施	産婦健診を2回実施し、延べ1,518件の受診があった。産後ケア事業は短期入所型は延べ188件（実36件）、居宅訪問型は延べ21件（実6件）の利用があった。また、令和6年度から新たに通所型を実施し延べ68件（実26件）の利用があった。子育てアプリ「Nびよ」の運用により妊娠前から子育て期の年齢に応じた子育て支援等の情報提供を行った。	産婦健診を2回実施することで、産後の支援ができた。産後ケア事業は新たに通所型を開始し、対象要件を緩和することで利用がしやすくなり、産後の不安解消につながった。子育てアプリにより、より手軽に子育て支援情報を入手できるようになった。	実施
			健康こども部	子育て支援課		継続実施	相談・情報提供 625件	引き続き、子育て世代包括支援センターにおいて、相談や情報提供を行い、必要に応じて関係機関と連携して対応する。	100%
働く人におけるメンタルヘルス対策	職場のメンタルヘルス対策の支援	P.112	福祉部	地域福祉課		継続実施	市民を対象としたゲートキーパー養成講座（11/29）を実施した。	市民を対象としたゲートキーパー養成講座の受講者数は14名だった。	実施
			産業政策部	産業振興課			実績なし		
無職者・生活困窮者への支援	ハローワーク、ヤング・ジョブあいち、地域若者サポートステーションとの連携、生活困窮者自立支援の推進	P.112	福祉部	地域福祉課	○	継続実施	・生活困窮者等の相談窓口として、「くらしサポート窓口」を継続設置した。（再掲） ・ハローワークと連携し就労自立促進事業を継続実施した。 ・居所を失った生活困窮者に一時的な居所を提供する「一時生活支援事業」を実施した。 ・一般就労に向けた基礎の能力を養いながら、就労に向けた支援や就労機会の提供を行う「就労準備支援事業」を実施した。	くらしサポート窓口での相談実人数は790人で、一時生活支援事業の利用件数は3人、就労準備支援事業の利用件数は5人だった。	実施
高齢者の居場所づくりと役立ちの醸成	「つどいの場」の開設・運営支援【再掲】や高齢者の移動・外出支援、シルバー支援センターやボランティアセンターなどを通じた生きがい機会の提供、いきいきシルバースクールの開催支援	P.112	福祉部	地域福祉課	○	継続実施	NPO法人等に委託して市内7箇所にぶらっとホームを設置した。	7箇所で、延べ18,591人が利用、多世代が交流する拠点としての役割を果たすことができた。	実施
			生涯学習部	学び支援課		学校等、対面での開催	竹の山小学校、西小学校、梨の木小学校にて年7回（6月～1月）開催 3校合同入学式、レクリエーション大会、修了式を開催	通常授業の開催に加え、合同入学式、レクリエーション大会、修了式を開催することができた。	実施
				日進市社会福祉協議会	○	継続実施	・つどいの場の運営助成 20団体 930,977円 ・つどいの場連絡会の開催（年3回、延べ57名参加）	多くの地域で、住民が歩いていける集会所等つどいの場が開催され、主に高齢の方々にとって住民同士の憩いの場になっている。	実施
地域包括ケアシステムの充実と相談支援の充実		P.112	福祉部	地域福祉課	○	継続実施	・生活困窮者等の相談窓口として「くらしサポート窓口」を継続設置した。（再掲） ・地域福祉課を中心に、関係課及び関係機関による生活困窮者自立支援事業支援調整会議を開催した（12回）。（再掲） ・必要に応じて、支援者の状況に応じて、必要な機関と連携し、個別ケア会議を実施した。（再掲）	くらしサポート窓口での相談実人数は790人だった。	実施